

## 第3回沢登り講習会（せんすじ谷）

【報告者】和崎

【日時】平成19年7月29日 【天候】晴れ

【参加者】金崎、稲田、田中政隆、田中美香、和崎

### 《コースタイム》

7:50 頃入溪 → 14:10 頃尾平トンネル

### 《 報 告 》

今日の沢登りの主題曲は「命くれない」に決めていた。初心者の方にとって滝はトップロープで登るのは当然でそうならば「・・・結ばれていた・・・」と歌詞が浮かんでくるこの曲しかない。昨日の楽しいビール祭りの酔いも醒めて7:50 入溪する。

宮原経由登山道の吊橋の直ぐ傍から左に入る。登り始めてすぐアレーなんか来た道のような気がする。壊れた林道の橋から暫く進むと20mの滝（昨年30mはあると平会長が言われていた滝）が目の前に現れ間違いない去年の沢だ。一度行っているのだから皆さんに迷惑掛けずに行ける気がする。この滝は右に高巻く。再び沢に入りやがて10mの滝。ここでCLの金崎さん体調不良で稲田さんがリードする。となれば主題曲は変更しなければならない。ラヴェルの「ボレロ」に変更する。理由は無い。

滝そのものは華麗に決めた。（と自分では感じている）さらに順調に進み、昨年滑ってうまく登れなかった滝に着く。右に1mの壁がありかなり登り難い滝だ。今回は滑りつつなんとかロープを頼らずいけた。

やがて核心の200mのナメをワルツで進む。ここで休憩時にエイト環がナメを散歩して滑って行った。CLにロープを垂らしてもらって取りに行く。ナメが終わると逆層の滝が次々と現れた。逆光を浴びて絶好のカメラアングルで水が陽の光を反射している。この光と水のアンサンブルの中を遡る自分を想像して絵になるかなと思ったが、現実に戻って想像するのをやめた。チョックストーンを2つ越えると水は伏流水となり右手に本沢が苔むした岩を見せていた。

リーダーの判断で本沢の尾根に行くことに決まった。沢靴をハイキング用の靴に履き替え藪漕ぎに近い歩きが約1時間少し、汗たっぷりで縦走路に出る。さらに1時間で尾平トンネルの登山口に付く。

無線で連絡してあったので松下号が待機しておりキャンプ場までひとつ飛び、ありがとうございました。

リーダー、サブリーダー、同行の皆さんありがとうございました。